

今までとは違う給食・摂食指導スタイル

6月4日（木）、学校再開後、中学部、高等部、そしてAパートの皆さんの初めての給食がありました。中学部2・3年生は、ランチルームで、先生が個別配膳した給食（お盆）を持って自分の席に着いて食べました。全員が同じ方向を向き、あまりお話をすることもなく静かなランチルームでした。また、Aパートでも摂食指導が行われました。指導する先生は、手作りの

フェイスシールドとマスクを着用し、今まで以上に隣との距離をとって衛生面に留意していました。高等部は、各教室で食べることになり、今までとは違う環境の中での給食で、しばらくは戸惑いもあることと思います。



（上）小学部Aパートの摂食指導の様子

（左）ランチルームで給食を食べる
中学部2・3年生



きざみ食・アレルギー食の検食用食品

安全・安心な給食のために

6月3日（水）から給食が開始され、それともなって「検食」が行われています。これは、学校の責任者が、献立計画の通りに作られているか、異物混入や異臭・異味がないか、加熱処理が適切かなどを確認し、「検食簿」に記録をつけ、食の安全を守り、品質の改善・向上に努めるために行っています。きざみ食（普通・極）、ペースト食、アレルギー食についても「検食」を行っています。

栄養教諭から「検食」のポイントについてレクチャーを受けました。（6/3）

おもと園様からのプレゼント

6月3日（水）、おもと園（有田川町）からたくさんのジャガイモとタマネギを頂きました。この日、本校の卒業生でもある二人がわざわざ届けに来てくれました。早速、給食室で仕事をしていた栄養教諭に手渡しました。今後、給食用の食材として全校児童生徒に提供させていただきます。

